

【個人探究代表者発表会(3月2日)】



会場の様子は、

- ◇体育館の壁に、1年生のテーマ別探究学習のまとめ模造紙がにぎやかに展示されるなか、
- ◇10人の代表者が、テーマもさまざま、プレゼンテーションの個性もさまざまに発表、
- ◇これまでの探究学習に深くかかわっていた3人のゲスト講評者のみなさんから、発表者だけではなく、聴き手の生徒へも向けて、これからの探究学習にむけてのヒントをたくさんいただき、



2時間半におよぶ発表会でしたが、聴き手の生徒もメモをとりながら、終了後には、発表の内容について「面白かった」「楽しかった」という声も交わされたり、一体感のある探究尽くしの会場でした。

この会場には生徒教員のほかに、お世話になった郷土愛プロジェクトや信州大学の先生方なども参観にきていただきましたが、この方々には、受付近くで2年生の展示発表(一部)もみていただきました。

弥生の「総合的な探究の時間」が始まって3年目、今年度は初めて、1・2年生が一会場に集まって代表者のプレゼンテーションを聴く形で探究発表会を開催。ねらいは、1年生は自分たちが始める個人探究へのヒントを得ること、2年生は自分たちそれぞれの個人探究学習と結びつけながら、進路へつなぐ糸口をさぐること。



- ◇さらに、特別発表として、前日に卒業したばかりの3年生1名から「探究と進路」をテーマにプレゼンテーションがあり、伊那北高校からも2年生1名から「妖怪の正体が知りたい」というユニークな発表がありました。
- ◇最後に、年度当初に探究ガイダンス講義をしていた荒井先生からこれから生徒が向き合う探究についてのご助言をいただいて…



1年生は、郷土愛プロジェクトとの探究学習に一区切りがついたあとも、活動を継続しているグループが少なくありません。4月から新企画「アカデミックチャレンジ(高大連携企画)」に挑戦、そのあとに個人探究に入り、いよいよ自分のテーマに取り組んでいきます。探究はずっと続いていく、習慣にしていけるもの、というお話もいただきました。2年生も個人探究や発表会で学んだことを、次のテーマに育てていくこととなります。

きく力 対話力 課題発見力 判断力 実行力 思考力 表現力 想像力

一年後の発表会ではさらに多くの校外の方にもみていただけるように期待をふくらませて、R4 年度を閉じます。

(ゲスト講評者のみなさん)

荒井英治郎 准教授 信州大学 教職支援センター

細見昭 助教 信州大学 農学部

安積順子さん 郷土愛プロジェクト担当 キャリア教育コーディネーター(同窓生)

田畑和輝さん 郷土愛プロジェクトメンバー 「探究」応援社会人講師(同窓生)

(代表者探究テーマ)

1)2E 中野聡太 「リラックスできる学校生活」

2)2A 小阪遥夏 「子育てをする親同士の輪を広げるために」

3)2C 北原野乃華 「色が人に与える影響」

4)2A 伊藤航介 「学びに適した環境とは？」

5)2D 有賀未知 「伊那市にあるカフェの魅力」

6)2C 加賀爪美歩 「食品ロスをゼロにするために何が出来る？」

7)2E 石川日菜 「究極の草とは～野草からお茶を作る～」

8)2D 高橋涼「野生動物と農業」

9)2B 河野和真 「音のない街を共に～ろう者の旅についてのノーマライゼーション～」

10)2B 滝田大和 「ネパールの高校生」

3年 中村佳音 「探究を通して学んだことと進路」

伊那北高校2年 北原楓花 「妖怪の正体が知りたい！—妙薬を伝えた河童—」



!OODA-OODA! observe, orient, decide & act